

衛生行政報告例の概況

1 精神保健福祉センターにおける相談等

精神保健福祉センターにおける来所による相談延人員は195人となっている。主な相談内容別にみると、「心の健康づくり」が66件（33.8%）と最も多く、次いで「思春期」39人（20%）、「ギャンブル」30人（15.4%）となっている。電話による相談を受けた延人員は5,385人、電子メールによる相談を受けた延人員は22人となっている。

2 栄養

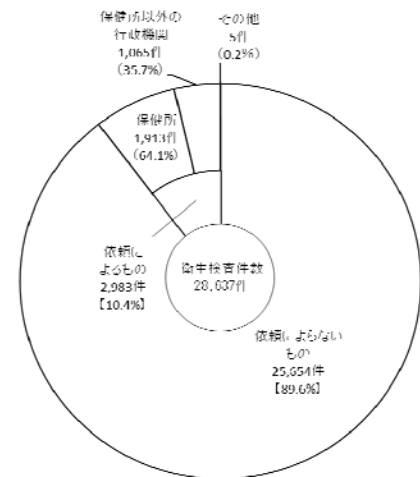
給食施設数は、前年より12施設増加し925施設となっている。施設別にみると児童福祉施設が257施設（27.8%）と最も多く、次いで学校の133施設（14.4%）となっている。

3 衛生検査

衛生薬業センター及び環境センターにおける検査件数は28,637件で、依頼によるものが2,983件、依頼によらないものが25,654件となっている。

依頼経路別では、保健所が1,913件と最も多く、そのなかでは、食品等検査が564件と最も多い。依頼によらないものでは、環境・公害関係検査が12,560件と最も多くなっている。

図1 衛生検査状況 平成30年度 佐賀県



4 不妊手術

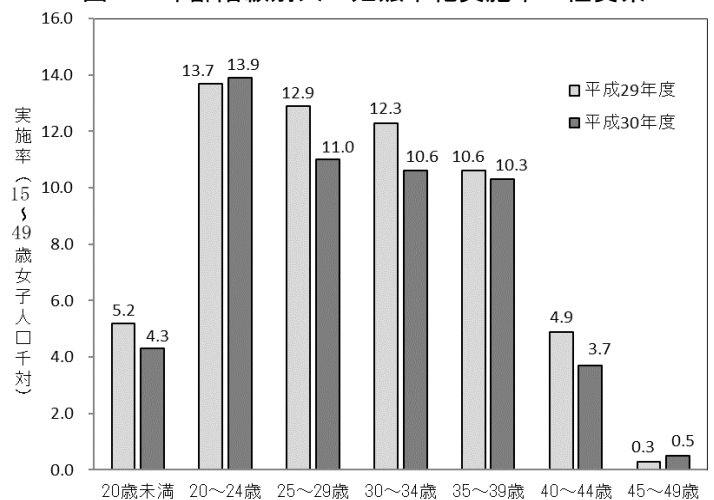
不妊手術件数は67件で、前年と比較すると11件増加している。

5 人工妊娠中絶

人工妊娠中絶件数は1,120件、前年と比較して件数は120件減少し、実施率（15歳以上50歳未満女子人口千対）は7.2%で、前年より0.8ポイント下回っている。

人工妊娠中絶実施率は、平成13年度から28年度まで低下し続け、平成29年度には一旦上昇したものの、平成30年度は再び低下へ転じている。

図2 年齢階級別人工妊娠中絶実施率 佐賀県



6 就業保健師・助産師・看護師・准看護師

(1) 就業保健師等の年次推移

平成30年末現在の就業保健師は493人（男5人、女488人）で前回（平成28年）に比べ6人（1.2%）増加している。

就業助産師は237人で、前回に比べ16人（7.2%）増加している。

就業看護師は、10,937人（男1,397人、女9,540人）で、前回に比べ358人（3.4%）増加している。

就業准看護師は4,529人（男530人、女3,999人）で、前回に比べ226人（4.8%）減少している。

(2) 年齢階級別にみた就業保健師等

年齢階級別にみると、保健師は「40～44歳」が83人（構成割合16.8%）と最も多くなっており、助産師は「25～29歳」39人（16.5%）、看護師は「35～39歳」1,642人（15.0%）、准看護師は「55～59歳」654人（14.4%）となっている。